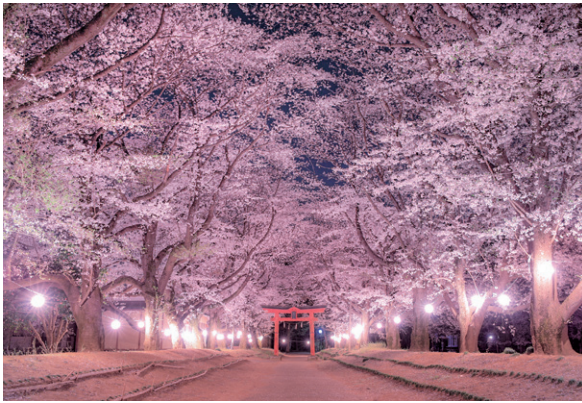


東落田天満社の桜



「Zekkeiいばらきフォトコンテスト2019」
【2019グランプリ】「桜の参道」
表紙写真提供：茨城県営業戦略部観光物産課

周辺をのどかな田畑に囲まれた八千代町東落田^{ひがしふきた}地内に鎮座する東落田天満社。春になると、約200mの裏参道を守るように植えられた桜並木が満開となり、幻想的な空間を作り出します。

東落田天満社の主祭神は、菅原道真公です。道真公は、農耕の神（雷神）、学問の神、道德の神、文道の太祖、詩歌や和歌の神、書道の神、芸能の神と仰がれるほか、学業成就や無病息災を願う神としても大きな信仰を集めています。

鎌倉時代の1288年、道真公をお祀りしている北野天満宮から分祀され、この地に東落田天満社が創建されました。「東落田の天神様」と呼ばれ、地域住民から長年親しまれています。

境内周辺には、参拝者の心に安らぎを与える緑深き鎮守の森が広がっています。この森の周辺は、1984年に茨城県から緑地環境保全地域に指定されており、四季折々、豊かな自然の営みを感じることができます。

参道を抜けると、江戸時代に改修された社殿が参拝者を出迎えます。社殿の各所には、驚くほど精巧で美しい見事な彫刻が施されており、見るものに深い感動を与えます。

新型コロナウイルス感染症の終息後、ご家族・ご友人とともに、東落田天満社を訪れてみてはいかがでしょうか。

